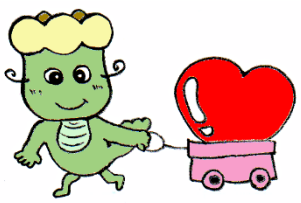
令和６年度事業報告書（案）



社会福祉法人　竜王町社会福祉協議会

※本報告書は、社会福祉法に規定する事業報告書及び事業報告書を補足する重要事項である付属明細書を「事業報告書及び付属明細書」として一体的に作成しています。

【総括報告】

竜王町は、地縁や家族・親族による見守り、気にかけあいが行われ、地域ごとの福祉活動が活発に行われている地域ですが、今後を見据えると人口の減少や高齢化が進行し、一人暮らし世帯の増加など個人を支える地域の基盤が弱まることが予想されます。

令和６年度においても能登半島豪雨災害など自然災害が数多く発生し、令和６年８月には「南海トラフ地震臨時情報」が発表されるなど災害への備えを常に行っておかなければならないと感じた１年となりました。

社会の変化、自然災害への対応などこれまでにない状況の変化の中において、令和４年度に行政と協働して策定しました「竜王町地域福祉計画・地域福祉活動計画」の２年目として計画に基づき事業に取り組みました。

また、行政と共催で「竜王町地域共生社会推進フォーラム」を開催し、小規模自治体である竜王町において企業や団体が地域住民とともにまちづくりを行っていくことをテーマとしたパネルディスカッションを行いました。

令和２年に社会福祉法が改正され、「重層的支援体制整備事業」が創設されるなど地域福祉の施策が大きく変化しています。社会福祉協議会が地域福祉を推進する中核的な団体としての役割をどのように果たしていくかを明確にする必要があります。このことを踏まえ、本会の基盤の発展強化を行い、地域福祉活動計画の目標の達成を図るため、中期経営計画の策定委員会を組織し、策定の取り組みを開始しました。

本会では、令和６年度から一時預かり事業を受託し、事業を実施しました。この事業は、保育所等を利用していない６か月から２歳児までの乳幼児で家庭において保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児を対象とした事業ですが、初年度にもかかわらず、延べ７２５人の利用がありました。引き続き、地域全体で子育てを応援する取り組みを推進していきます。

この報告書において、令和６年度の活動を振り返り、成果や課題を明らかにし、令和７年度につなげていきたいと思います。

【重点的取り組み報告】

１．福祉委員会活動の取り組みによる見守り支えあい活動の推進

自治会ごとに組織されている福祉委員会を中心に地域福祉活動が活発に行われています。本会では、見守り活動を推進するため、災害を見据え、小地域のネットワークで行う日ごろの見守り活動を推進するとともに、地域で気にかかる人について話し合う場づくり（気にかけあう会議）の推進を図りました。

現在では気にかけあう会議の必要性を実感しにくい状況もありますが、災害時要配慮者名簿の作成と見守り活動を推進しようとする地域もありました。

２．災害時に対応できる社協組織づくり

竜王町での災害に備え、災害対応マニュアルおよび災害ボランティアセンター運営マニュアルの整備を行いました。また、社会福祉協議会事業の継続性を担保できるよう BCP の作成を開始しました。

３．重層的支援体制整備事業の推進による相談事業の取り組み（自立相談支援事業一次相談の実施）

自立相談支援事業の一次相談を実施しました。早い段階での困りごとを把握することができず、生活保護につなぐケースが多い状況でした。アウトリーチによる困りごとの把握が十分でなかったことが課題として残りました。

４．一時預かり事業の実施とグループの再編

保育所等を利用していない 6 か月から２歳児までの乳幼児で家庭において保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児を対象とした、一時預かり事業を今年度より新たに開始しました。

受託事業が増えたことにより一時預かり事業のほかこどもひろば、生涯現役事業の受託事業およびふれあいプラザの指定管理事業を １ つのグループとして再編しました。

５．人材育成（体制づくり）

スーパーバイザーに２か月に１回来ていただき、福祉委員会支援、災害ボランティアセンターの体制整備、ボランティアセンター運営協議会の設置に関して助言を受け、人材育成や体制強化を図りました。

【事業実施報告】

Ⅰ法人運営グループ

Ⅰ．法人組織・事務局機能の強化

民間の社会福祉法人として、次の会議を開催し、透明性のある法人運営に努めました。

■法人運営機能の充実・強化

（１）理事会

開催日	議事内容
令和６年 ６月　７日	①令和５年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業報告の承認について ②令和５年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会計決算の承認について ③令和６年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会会計補正予算の承認について ④社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ⑤社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員選任・解任委員選任にかかる同意について ⑥訪問介護事業、居宅介護事業の事業廃止届について ⑦竜王町地域福祉権利擁護事業実施要綱の改正について ⑧地域福祉権利擁護事業にかかる利用料減免基準要綱の改正について ⑨令和６年度定時評議員会の日程および内容について
７月　24日	（協議事項） ①社会福祉法人竜王町社会福祉協議会　訪問介護事業拠点区分の積立金について
９月　20日	①社会福祉法人竜王町社会福祉協議会中期経営計画策定委員会設置要綱について ②社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について ③令和６年度第２回評議員会の日程および内容について
11月　26日	①訪問介護事業拠点区分積立金の目的外取り崩しについて ②社会福祉法人竜王町社会福祉協議会第２次補正予算について ③令和６年度第２回評議員会の日程および内容について （協議事項） ①新たに行う積立金について

令和７年 １月　28 日	（協議事項） ①新たに行う積立金について
３月　13 日	①人件費および運営費の積立を行うことについて ②令和６年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計第３次補正予算について ③竜王町社会福祉協議会経理規程の改正について ④竜王町社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の改正について ⑤竜王町社会福祉協議会善意銀行運営要綱の改正について ⑥竜王町社会福祉協議会善意銀行ボランティア活動応援助成金交付事業実施要領（案）について ⑦令和７年度竜王町社会福祉協議会事業計画について ⑧令和７年度竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算について ⑨役員等賠償責任保険の加入およびこれに伴う保険料負担について ⑩令和６年度第３回評議員会の日程、場所および議題の承認について

（２）評議員会

開催日	議事内容
令和６年 ６月 24 日	① 令和５年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業報告の承認について ② 令和５年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会協議会計算書類（貸借対照表および収支計算書）および財産目録の承認について ③ 令和６年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会第１次補正予算の承認について
12 月　10 日	（協議事項） ①令和６年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会第２次補正予算の承認について
令和７年 ３月 24 日	①令和６年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計第３次補正予算について ②令和７年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会事業計画について ③令和７年度社会福祉法人竜王町社会福祉協議会社会福祉事業会計予算について ④令和７年度竜王町社会福祉協議会理事および監事の報酬額（総額）について

（３）監事会

開催日	内容
令和６年 ５月 29 日	令和５年度社会福祉協議会事業執行状況および会計の監査

（４）評議員選任・解任委員会

開催日	内容
令和６年 ６月 18 日	社会福祉法人竜王町社会福祉協議会評議員（補欠）の選任について

（５）会長・副会長等三役会議

開催日	内容
令和６年 ５月 31 日	令和６年度第１回役員会議案について
９月 11 日	令和６年度第３回役員会議案について
11 月 19 日	①令和６年度第４回役員会議案について ②町長との懇談会について
令和７年 ３月７日	①令和６年度第６回役員会議案について ②事務所移転について

（６）財務・労務管理

税理士および社会保険労務士と委託契約を締結し、指導、助言を受け、適正な財務執行に努めました。

■部会・委員会機能の充実、強化

（１）法人運営部会

中期経営計画の策定員会を立上げ、計画内容の協議を行いました。

開催日	内容
令和６年 12 月 24 日	竜王町社会福祉協議会の基盤の現状について 基本理念について 経営方針について
令和７年 ２月 18 日	基本理念について 経営方針について 経営目標について

（２）地域福祉推進部会

地域福祉推進部会では、地域福祉活動計画を基に気にかけあう会議やボランティアの育成・支援等について協議しました。また、ブロック別懇談会の企画についても協議を行いました。

開催日	内容
令和６年 ９月９日	① 第４期地域福祉活動計画の進捗報告について ② 地域福祉ブロック別懇談会について
令和７年 ２月２８日	① 第４期地域福祉活動計画の進捗報告について

（３）受託事業部会

令和６年度は実施していません。

（４）広報部会

開催日	内容
令和６年 ４月　５日	福祉りゅうおう NO.144 号（５月発行）について検討
７月　５日	福祉りゅうおう NO.145 号（８月発行）について検討
１０月　７日	福祉りゅうおう NO.146 号（11 月発行）について検討
令和７年 １月　８日	福祉りゅうおう NO.147 号（２月発行）について検討
３月 28 日	福祉りゅうおう NO.148 号（５月発行）について検討

■役職員研修会の実施

（１）役員研修

会長が、トップセミナーや社協会長会での研修に参加しました。

（２）職員内部研修

開催日	内容
令和７年 ３月 28 日	人権研修

（３）局内会議の実施

開催頻度	会議名称
２週に１回	進捗会議（部門間連携を行い、情報共有と進捗状況の把握）
月２回程度	地域シェア会議（地域福祉事業の運営協議）
毎月１回	こどもひろばスタッフ会議（こどもひろばの運営協議）
毎月１回	生涯現役事業内部会議
毎月１回	地域福祉権利擁護事業内部会議

（４）研修会への参加

10 月 29 日 11 月 18 日 12 月２日	滋賀の福祉人研修（リームリーダー）
１月　25 日	竜王町じんけんを考えるみんなつどい
２月５日	社会福祉法人会計セミナー決算編

２．安定した事業財源の確保

■会員会費の拡充

（１）一般（世帯）会員加入の理解促進

会費の趣旨説明、会員募集の周知および会費徴収について、各自治会長宅を訪問してお願いし、自治会の協力のもと、事業財源の確保と地域福祉活動の充実を目指しました。

	令和６年度	令和５年度	令和４年度
一般会費（世帯 1,000 円）	1,097,496 円	1,174,472 円	1,288,994 円

（２）賛助会員の加入促進

企業、商店、個人の皆様に対し、訪問などにより協力依頼を行いました。

また、新規会員の依頼訪問を 20 件（内 10 件不在）行い、２企業（内、特別会員１企業)、１団体、個人１名が新規会員に加入されました。

		令和６年度	令和５年度	令和４年度
賛助会員 (2,000 円以上)	企業・商店	95 件（231,000 円）	92 件（224,000 円）	94 件（221,000 円）
	個人	30 件（ 77,000 円）	38 件（ 90,000 円）	33 件（ 85,000 円）
特別会員 (10,000 円以上)	企業・商店	31 件（370,000 円）	33 件（390,000 円）	32 件（370,000 円）
	個人	13 件（130,000 円）	11 件（110,000 円）	10 件（110,000 円）
合　　計		808,000 円	814,000 円	786,000 円

■新たな事業財源の確保

（１）助成金の活用

令和６年度活用実績なし。

（２）広報広告募集

令和６年度実施なし。

■善意銀行の管理・運営

（１）善意銀行運営委員会の開催

寄附金（物品）の管理と目的に沿った使途および必要時の地域福祉推進活動者への預託金払い出しのための審議を行いました。

開催日	協議事項
令和６年 ４月 22 日	①委員長・副委員長の選任について ②災害弔慰金の支給について（住宅火災１件） 災害見舞金支給要綱について
令和６年 ８月 29 日	①ボランティアグループ創設にかかる寄附金の払出について（Lullaby）
令和７年 ３月 ３日	①ボランティアグループ創設事業にかかる助成金の確定について（幸せ受け愛隊） ②災害見舞金の贈呈について（住宅火災２件） ③善意銀行の払出しが認められる事業の新規提案 ボランティア活動応援助成金交付事業（案）

（２）災害時等の支援に要する費用の管理

災害時に備えた費用の準備と必要時の活用のため、寄附の一部を継続的に預金、管理しています。

Ⅱ地域福祉推進グループ

１．地域福祉活動計画の進捗管理

（１）地域福祉活動計画の進行管理

社会福祉協議会が主体となる取組については、本計画に基づいて事業や活動を実施し、地域福祉推進部会において進行管理を行いました。また、行政の地域福祉計画推進委員会とも連携して、活動計画の評価を行いました。

開催日	内容
令和６年９月９日	地域福祉推進部会
令和７年２月２８日	
令和７年３月２８日	地域福祉計画推進委員会

２．地域福祉活動計画の推進

１．わかりあい　わかちあいで人づくり

（１）共生の心を育む学びの場づくり

児童に対する福祉学習の支援を行いました。また、未就園児親子を対象とした高齢者施設との交流を実施し、将来、子どもたちが大きくなった時に福祉への関心をもてるきっかけづくりとしました。

①人権理解・男女共同参画のための学習・啓発

・福祉委員会等で性別や世代にとらわれず参画を進めるための研修の開催

竜王町人権教育推進協議会に参画して、人権啓発を行いました。

②属性を超えて共に生きるための学習・啓発

・福祉学習の推進

町内の小学校に対し、福祉体験の指導や講義などの総合学習などにおける支援を行いました。また、民生委員児童委員と協力し、中学校で福祉学習を実施しました。

＜竜王中学校＞

実施日	内　　容
令和６年１１月２５日	地域を知る～こんにちは、民生委員です～

＜竜王小学校＞

実施日	内　　容
令和６年９月 19 日	車いす体験（４年生）
令和７年３月４日	視覚障がいに関する学習・点字体験（３年生）

＜竜王西小学校＞（全て４年生で実施）

実施日	内　　容
令和６年 ６月 28 日	車いす体験
７月　４日	視覚障がいに関する学習・点字体験
９月 24 日	高齢に関する学習・高齢者疑似体験

・プチどら★にこにこプロジェクトの実施

こどもひろば「おさんぽデー」の一環で、グループホーム希望の家との交流を２回実施し、福祉の心を育む一つの機会となりました。

（２）多様な関わりを増やすしかけづくり

見守り活動をキーワードにしたネットワークづくりに向け、各種団体による会議に参加し、意見交換をしながら、町域での課題把握を行いました。

また、フードドライブ事業を活用した町内企業との接点づくりを行いました。

①多様な地域活動のあり方の協議・提案

・ALL 竜王見守りあいプロジェクトの開催

住民、企業や団体および行政が連携し、見守りを軸としたネットワークづくりを推進するものです。

令和６年度は、各種団体によるネットワーク会議（ちえりんぐ）に参加し、災害をテーマに話し合いを行いました。会議内では、町担当課や防災士ともつながりを持つことができ、参加者にとっても有意義な時間となりました。

②身近な圏域におけるネットワークづくり

・生活困窮者支援のためのネットワークづくり

フードバンク滋賀等の関係団体から協力を得て、生活困窮者への食糧支援を実施しました。

また、子ども食堂への食材等の提供などを行い、課題のある家庭など個別の情報を健康推進課等行政担当課に共有するなどの連携支援を行いました。

③地域活動を促すコーディネート機能の拡充

・ボランティア活動の啓発と参加のコーディネート

＜ボランティア活動相談、ボランティア登録、連絡調整機能＞

日常的なボランティア相談・登録・斡旋に加え、連絡調整を行いました。ボランティアの依頼数は、地域でのイベント等の再開により、増加しました。

相談内容	ボランティア派遣	福祉教育	その他
令和６年度	31 件	18 件	157 件
令和５年度	28 件	18 件	78 件
令和４年度	7 件	16 件	34 件

＜ボランティア活動保険の対応＞

加入申し込みの対応を実施しました。また、安心してボランティア活動をできるよう、年度末に登録ボランティアへ次年度更新に関する案内などをしました。

	活動保険	行事用保険
令和６年度	668 人	18 件
令和５年度	689 人	16 件
令和４年度	756 人	8 件

＜ボランティア活動への啓発・情報提供＞

新たなボランティア活動の啓発、活動の場の情報提供を行いました。

活動の啓発として、社協掲示板や福祉ステーション内の階段踊り場、図書館、公民館などにボランティアの情報を掲示しました。また、ホームページ、インスタグラム、ラインを活用し、年４回の福祉りゅうおうに「ぼらんてぃあ通信」を掲載しました。

ボランティア交流会、おもちゃのびょういん、切手ボランティア活動を実施しました。

	実施日	内容	参加人数
ボランティア交流会	3 月 26 日	町内でボランティア活動をされている方に参加していただき、今年度新規登録されたボランティアの紹介（幸せ受け愛隊、竜王おり紙サークル、Lullaby、恩田氏（健康体操））を行い、情報交換等を実施しました。 それぞれの方が集まれば、もっと大きな活動ができるのではないかなどご意見をいただき、ボランティア同士が交流する機会となりました。	23 人

おもちゃのびょういん	8月22日 12月20日 2月26日 3月28日	おもちゃのびょういん おもちゃのびょういん おもちゃの寄付回収 おもちゃのびょういん（竜王ドクター） 湖南市のボランティアを中心に開催してきましたが、広報誌で竜王町のドクターを募集し、3名の方が見学に来られ、3月には竜王のドクターでのおもちゃのびょういんを開催することができました。	15組 10組 0組 3組
切手ボランティア	10月4日 1月30日 3月13日	社協に集まった切手の大きさ等を整える作業ボランティアを募集し、気軽に参加できるボランティアということでロコミで参加者が増えてきました。	2名 3名 5名

・社協の地域福祉人材育成

外部のスーパーバイザーをお願いし、2カ月に1回程度、計6回来所いただいて、アドバイスを受けました。

今年度は、福祉委員会支援・災害ボランティアセンターの構築・ボランティアセンターの運営についてアドバイスを受けながら、取り組みを進めてきました。

令和7年度は、災害ボランティアセンターの構築に関する取り組みなどについてスーパーバイズを受けて、取り組みを実践していきます。

2．であい　支えあいで地域づくり

（1）多様な交流の場づくり

各福祉委員会や地域ボランティアによって、交流の場が開催され、多様な交流の場が広がっています。

①多世代が交流する場の推進

・コミュニティカフェ

多世代で交流できるコミュニティカフェが28か所で開催され、地域単位で行われるコミュニティカフェだけでなく、町域で活動されるコミュニティカフェなどが始まりました。

新しく取り組みをスタートされたコミュニティカフェについては、開催に向けた話し合いへの参加や、取り組みのスタートに向けた関係団体との調整などの支援を行いました。

・多世代交流を図る子ども食堂等の推進

町内では3地区で開催され、子ども達だけでなく、地域の様々な住民の居場所として開催されています。（令和6年度新規：1か所）

②同じ悩みを持つ人が集まり、語る場づくり

・竜王町こどもひろばの開催　　〔詳細は P.26、27〕

子育てお悩み相談会や楽しい子育て講座を開催し、助産師や町担当課職員と話す機会を設け、子育て中の悩みを解消できる機会を設けました。また、学年別ひろばやこどもひろばにおいて、子育て中の親子の仲間づくりを行いました。こどもひろばスタッフも定期的に声をかけ、相談しやすい環境づくりを行いました。

・当事者団体との協働や参加のコーディネート

子育て支援団体や介護に関するカフェに参加し、活動把握を行いました。また、広報で当事者団体の紹介を行いました。

① テーマでつながる場づくり

・テーマ別地域福祉活動情報交換会

こども食堂ネットワーク会議を開催し、4か所のこども食堂と情報交換会を開催しました。初めての開催でしたが、お互いに活動を応援し合える関係づくりのきっかけになりました。

（２）地域での支えあいの仕組みづくり

福祉委員への支援やレク用品等の貸し出しなどの活動支援を行い、地域活動の充実を図りました。また、将来を見据え、これからの住民福祉活動の展開を図れるよう、地域訪問や研修会を実施しました。

①地域の中の困りごとを共有する仕組みづくりの推進

・気にかけあう会議の開催支援

地域での暮らしが心配と思われる事や気にかけあっていることを話し合うなど地域で相談する場を作る取組みを行っています。会議の場の開催に向けて、各地区の福祉関係者などを中心に話し合いや共有の場の大切さを伝えました。今後、各地区での場の開催に向けた支援を行っていきます。

・自治会域の活動では解決できない課題について、自治会域を超えて実施する仕組みの検討

福祉委員会の取組について、見守りの推進や気にかけあう会議の推進など地域の中での福祉活動を見直すことを優先し取り組みを進めています。自治会域を超えた活動については、地域での活動を見直す中で、テーマ設定など地域の様々な担い手の声を聞きながら、検討を進めていきます。

② 日ごろの見守り活動の推進

・福祉委員会や住民同士の見守り・支えあい活動の推進

＜各地区での見守り活動の状況調査＞

各地区での見守り活動を調査するために、町交付金で見守り加算を取得されている地区を中心に自治会長、民生委員児童委員、福祉委員への聞き取りを行いました。

福祉委員会を中心とした見守り活動や民生委員児童委員による見守り活動など２０地区で見守り活動を実施していることが把握できました。

＜福祉関係三者研修会＞

各地区の小地域福祉活動の推進者である自治会長、民生委員児童委員、福祉委員の方々をはじめとする福祉委員構成員が協力して取り組みを進められるよう、三者を対象とした研修会を開催しました。

開催日	内　　容
令和６年 ５月 11 日	・能登半島地震の派遣報告 ～七尾市災害ボランティアセンター運営支援～ ・福祉委員会と福祉委員について

＜タブレット使い方説明会＞

令和４年度より福祉委員にタブレットの貸与を行い、社協からの情報発信や福祉委員間の情報共有ツールとして活用し、連携が密になるよう取り組みました。タブレット活用については、使い方講習会なども併せて行いました。

開催日	参加者
６月７日	８人
６月８日	11 人
個別対応	13 人

＜ブロック別懇談会＞

「日常↔災害　地域の活動のつながりについて」をテーマに、昨年度策定した竜王町地域福祉計画および地域福祉活動計画の進捗と、支えあえるしくみづくりについてお互いに共有する機会として開催しました。グループ懇談では、「お互いの地域活動が共有し合える場」について自治会ごとに検討しました。

開催日	参加地区
11 月 18 日	西出・東出・西山・新村・山中・岡屋・さくら団地・小口・薬師・松が丘
11 月 20 日	岩井・川守・田中・林・庄・信濃・橋本・川上・弓削・駕輿丁・島・綾戸
11 月 22 日	鵜川・七里・須恵・山面・西川・西横関・鏡・美松台・松陽台・希望が丘

＜各地区での研修会や福祉委員会など話合いの場への参加・支援＞

各地区で開催される福祉委員会などに社協職員が講師として参加、活動事例や活動時のポイントなどを紹介し、地域での取組の推進を支援しました。

また、福祉委員会等にも参加し、地区活動の状況や課題の把握を行いました。

職員参加件数：10件

（見守りや支えあいをテーマとした地区数：5地区）

・見守りを兼ねた一人暮らし高齢者配食事業の実施

ボランティアさんの協力により年 4 回、お弁当を作っていただき、民生委員児童委員による各お宅への配食を通じて一人暮らし高齢者の見守り活動を実施しました。また、今年度途中から配食の案内関係についても、民生委員児童委員が手配りで配布してくださり見守り回数も増え、見守り活動の充実へとつながりました。

また、民生委員児童委員から見守り状況の報告を受け、地域包括支援センターと情報共有を行い、一人暮らし高齢者の支援等について確認しました。

実施日	内　　容	対象者
6月22日	・お弁当のお届け（調理協力：竜王町赤十字奉仕団）	80人
11月9日	・お弁当のお届け（調理協力：竜王町赤十字奉仕団） ・おたよりボランティア（87人におたより届ける）	76人
1月11日	・お弁当のお届け（調理協力：竜王町赤十字奉仕団） ・おたよりボランティア（84人におたより届ける） ・町内の方から寄付いただいた「しじゅうまめのストラップ」のプレゼント	77人
3月　8日	・お弁当のお届け（調理協力：竜王町赤十字奉仕団） ・いつまでも元気クラブミシン講座受講者さんから手提げ袋のプレゼント	74人

・コミュニティカフェなど集いの場の開催の支援

各地区で取り組まれている住民主体の活動が推進されるよう各地区の取り組みを紹介するとともに活動者が繋がり、連携をとりながら支援を行いました。身近な地域での福祉活動の重要性が高まっており、継続して支援していきます。

＜地域での取組状況＞

コミュニティカフェ（対象を限定しない集いの場）	28か所
サロン（対象を限定した集いの場）	14か所
おたっしゃ教室	13か所

＜訪問実績・相談対応実績＞

	令和６年度	令和５年度	令和４年度
訪問実績合計	176 件	144 件	88 件
地域福祉活動に関する相談	452 件	477 件	350 件

＜地域福祉活動に関する相談内容＞

相談内容	相談件数
通いの場の取組	135 件
訪問活動	55 件
地域の会議	18 件
研修等	18 件

相談内容	相談件数
子ども食堂	41 件
防災・減災	29 件
福祉学習	33 件
その他	123 件

＜物品貸し出し＞

	令和６年度	令和５年度	令和４年度
レク用品貸出	５６件	６０件	３１件
イベント用品貸出	１３件	１６件	４件
鉄板一式	―	―	１件
かき氷機	１件	４件	１件
ポップコーン機	３件	６件	―
綿菓子機	９件	６件	２件
紅白幕	９件（３０枚）	８件（３４枚）	４件（17 枚）

③安全な暮らしを守る地域づくり

・災害を見据えた「近助事業」の実施

大規模災害時等の避難行動支援などを見据えた、日頃からの近所の関係づくりを進める「近助」体制づくりを小地域福祉活動の柱として推進しました。

・災害ボランティア活動の仕組みの整備

地域福祉アドバイザーと共に、災害時の社協マニュアルを見直し、災害時にもすぐに対応できる社協体制の構築に向けた話し合いを行いました。

また、近江八幡市が主催する災害ボランティアセンターの訓練への参加や近隣市町社協と共に災害ボランティアに関する研修会を行いました。

３．助けあい　関わりあいで暮らしづくり

（１）相談・情報提供体制の充実

行政が構築する総合相談の体制に参画し、専門職等との連携の強化をすすめました。また、適宜、行政職員と一緒に相談対応を行い、複合的な課題解決にむけた支援を行いました。

インターネットや SNS などの受け手が情報を得やすい手段を活用し、タイムリーな情報発信を実施しました。

①不安や悩みを受け止める相談体制の確保

・心配ごと相談の実施

住民の身近な相談窓口として、民生委員児童委員、行政相談員、人権擁護委員を相談員として毎月１回心配ごと相談所を開設しました。

	令和６年度	令和５年度	令和４年度
相談件数	２３件	１３件	１３件

〈相談内容〉（相談来所数１つにつき、複数内容の相談あり）

相続・贈与：４件、親族・家族トラブル：３件、土地・不動産：２件、近隣（人間）関係：６件、制度説明：２件、金銭貸借：２件、契約トラブル：３件、労働問題：４件、合成相談：３件、企業内トラブル：２件、自治会トラブル：１件

〈紹介先〉

行政：６件(健康推進課、未来創造課、総務課：各１件、生活安全課：３件)、弁護士無料法律相談会：２件、法務局：２件、司法書士：３件、滋賀県弁護士会：１件、法テラス：２件、OTIT（外国人技能実習機構）：２件

・弁護士無料相談会の実施

年４回（６月、９月、１２月、３月)、弁護士による無料法律相談会を実施しました。

	令和６年度	令和５年度	令和４年度
相談件数	１６件	１３件	１２件

（12/15：キャンセル待ち１件）

〈相談内容〉（相談来所数１つにつき、複数内容の相談あり）

相続：９件、離婚問題：２件、債務：１件、登記：１件、空き家：１件、近隣トラブル：１件、農地転用：１件、遺言書作成：１件、成年後見人制度：１件

・社協事業や地域活動で把握された情報を行政と共有

町行政が主催する重層的支援会議、精神ケア会議およびひきこもり支援検討会議等に参画し、社協の事業や活動で得た個別の課題情報等の共有を行いました。

・生活困窮者への相談体制の充実

〈生活困窮者自立相談支援事業〉

生活に困窮されている方の自立を促進することを目的として、滋賀県から委託を受け、自立相談支援事業の相談窓口として事業を実施しました。

また、フードドライブを活用した食糧支援を行いながら、相談者の自立に向けた支援を行いました。

〈相談受付〉

	令和６年度	令和５年度	令和４年度
新規相談件数	７件	４件	８件
情報提供や相談対応で終了した件数	３件	４件	８件
他の制度や専門機関へつないだ件数	４件	０件	０件
支援の同意に向けて対応中の件数	０件	０件	０件
総合支援資金特例貸付の対応した件数	０件	０件	０件

〈支援計画に基づく支援〉

相談者が抱える課題を把握し、その置かれている状況や本人の意思を確認することを通じ、個人の状態にあった支援計画の作成を行う体制をとりましたが、計画作成には至らず、生活保護の申請をされることが多い状況でした。

本制度での対応が難しい状況になるまで相談ができず、より厳しい状況にいたってから来所される方も多く、住民や関係機関への事業周知を行い、早い段階で潜在化している相談者に繋がっていく必要があります。そのためには、アウトリーチも課題となります。

	令和６年度	令和５年度	令和４年度
支援計画に基づく支援件数	０件	０件	０件
新規支援計画作成件数	０件	０件	０件
支援計画に基づく支援終了件数	０件	０件	０件

（支援終了にあたっては、自立した生活を継続できるよう他制度等による継続支援を実施）

〈支援調整会議への出席〉

ハローワークや就労準備支援事業実施事業所との連携を行いました。

令和６年　５月 30 日	・新規相談対応状況 ・相談内容の報告、支援の方向性の検討 ・支援機関の既存の制度や新規制度の情報共有
７月 17 日	
11 月 11 日	
令和７年　２月 18 日	

〈生活福祉資金貸付事業〉

滋賀県社会福祉協議会が実施している生活福祉資金貸付事業の相談窓口として事業を実施しました。

総合支援資金や福祉資金などの要件に合わせた相談対応を行いました。

相談内容は、制度概要の説明や貸付要件に該当しないため他の制度につなぐなどであり、いずれの相談も貸付には至りませんでした。

		令和６年度	令和５年度	令和４年度
総合支援資金	延べ相談	２件	６件	０件
	新規貸付	０件	０件	０件
福祉資金	延べ相談	８件	１４件	10件
	新規貸付	０件	０件	０件
教育支援資金	延べ相談	１件	２件	１件
	新規貸付	０件	０件	０件
不動産担保型生活資金	延べ相談	０件	３件	０件
	新規貸付	０件	０件	０件

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う特例貸付（令和２年３月25日～令和４年９月末で受付終了）の償還が、令和５年１月から開始されました。償還が開始される方から、順次、滋賀県社協と連携しながら「償還手続」、「償還猶予手続」、「償還免除手続」の対応や相談支援を行いました。

また、償還が滞り利息が発生している借受人のお宅を訪問し、現在の生活状況の確認を行いました。

	令和６年度	令和５年度	令和４年度
特例貸付の償還に関する相談（延べ）	６７件	72件	19件
特例貸付償還猶予件数	８件	２件	３件
特例貸付償還免除件数	０件	８件	33件
借受人宅への訪問件数	１５件		

②埋もれている悩み事への早期対応

・フードドライブ事業の実施

フードドライブの寄付ＢＯＸをふれあいプラザや町内関係施設に設置し、フードドライブを実施しました。その他にも、関係機関・フードバンク滋賀などから協力もいただき、食糧支援を実施しています。

また、町内の福祉人材定着などを目的とした一人親世帯への配布会を実施しました。

令和６年度フードドライブによる支援世帯：４世帯

福祉人材応援プロジェクト　一人親世帯への配布会申込件数：２件

・集いの場参加者の悩みに早期に気づくためのスタッフ向け研修の開催
　研修は開催できなかったが、社協職員が集いの場等に出向き、スタッフの方々に気づきの視点をもっていただけるような声掛けなどをしました。

③虐待・家庭内暴力の予防と対応
・民生委員児童委員の赤ちゃん訪問への協力
　民生委員児童委員協議会が行う「こんにちは！赤ちゃん訪問」事業に健康推進課と社協が協働しています。
　民生委員児童委員が訪問した際に聞き取った困りごとや気にかかることなどについて、各委員から事務局社協に報告を受け、情報提供や関係機関につなぐことで、乳児家庭の孤立化防止を図る機会とすることができました。

④情報を入手しやすい環境の充実
・社協広報誌、ホームページ、SNS による情報発信
・「福祉りゅうおう」の発行
　各種事業の事業報告や案内などを掲載しました。また、各地区での取り組みを掲載し、地域福祉の推進に取り組みました。

発行月	内容
令和６年 ５月１日	NO.１４４号　社協活動への住民参加の促進と PR に努めました
８月１日	NO.１４５号　〃
１１月１日	NO.１４６号　〃
令和７年 ２月１日	NO.１４７号　〃

・こどもひろば便りの発行
　こどもひろば便り「どらんちゅ」を毎月１回発行し、事業の近況報告やお知らせなどを行いました。
　また、参加者の募集や月間の予定を掲載し、参加者の拡大を図りました。

・「いつまでも元気クラブ」だよりの発行
　鏡・弓削・鵜川ふれあいプラザ等で実施している「いつまでも元気クラブ」（生涯現役事業）の介護予防事業や「いきいき趣味活動」による仲間づくりなどの情報を「いつまでも元気クラブ」だよりとして毎月発行し、高齢者の健康維持や介護予防の活動に参加していただけるよう周知しました。

・ホームページや SNS による情報発信
　インスタグラム、フェイスブックやＬＩＮＥ公式アカウント等のＳＮＳを随時更新し、社協事業やこどもひろばの月間予定の公開・タイムリーな情報や子育て情報等の発信を行いました。

・公民館における常設展示
　公民館の交竜フロアに常設の展示コーナーを設置し、事業の紹介・参加者の募集・講座の案内などを行いました。

・一人暮らし高齢者の配食サービス実施時にニュースレターの発行や啓発資材の配布
　配食実施時に、ニュースレターでは啓発につながる内容や、町内の出来事、脳トレ、社協事業について等、興味を持っていただけるような内容の掲載に勤めました。詐欺、住宅防火、健康についてなどの注意喚起情報を関係機関から提供いただき同封し、啓発につとめました。

・福祉委員に配布したタブレットによる情報発信や情報提供
　ラインワークスを活用し、各地区福祉委員会の活動状況や活動助成のお知らせを掲載し、情報提供を行いました。
　しかし、各福祉委員のタブレット活用などを定着させることが難しく、令和６年度をもって、貸出用タブレットを通じた情報発信はやめることになりました。
　今後は、社協ホームページ内に福祉委員限定ページを設け、情報発信を行っていく予定をしています。

（２）支援を必要とする人を支える体制づくり
　経済的な困窮やひきこもり等を抱えた人に対し、行政と連携して相談支援や社会参加支援または就労支援を行いました。
　また、判断能力が不十分な人に対し、行政職員や専門職等との連携および制度利用を通した支援を行いました。

①生きづらさを抱える人たちへの支援の推進
・フードドライブ事業の実施
　フードドライブ事業を活用し、支援を必要とされる方々との接点づくりを行いました。
　・フードパントリーに取り組む団体への支援　１件
　・子ども食堂を実施する団体や子どもの育ちを支援する団体への支援　８件

・支援を必要としている子どもを気にかけた子ども食堂の実施の支援
　地域３ヶ所、町域３ヶ所の子ども食堂へ定期的に訪問し、活動や参加者の把握・支援を行っています。その内、２か所は令和６年度に立ち上げられたもので、立ち上げに関する支援も行いました。

・就労支援（体験）の場の提供

３ヶ月に１回、ひきこもり支援検討会議に出席し、関係各課や社協が把握するひきこもりの実態や現状について情報共有し、支援連携体制の構築に向けた協議を行いました。

また、社会参加することに難しさを感じる人に対し、就労体験や社会体験の場の提供を行政と連携して行っています。

フードドライブの仕分け作業や有償ボランティア活動としてグリーン近江での折り込み作業活動などを実施し、活動の場を提供しました。

・フードドライブ等仕分け作業　６回実施／参加延べ人数６人

・グリーン近江での折り込み作業　２４回実施／参加延べ人数 74 人

②成年後見制度・地域福祉権利擁護事業の推進

・地域福祉権利擁護事業の実施

〈地域福祉権利擁護事業〉

認知症等高齢者、知的障がい者、精神障がい者で判断面に不安のある方が日常生活を安心して暮らせるよう、福祉サービスの利用や行政サービスの手続きにかかる本人への同行や代行、また、日常生活にかかる費用の金銭管理、書類等の預かりを行うなど、本人の自立を支える支援を行いました。

〈令和６年度の状況〉

	認知症高齢者等	知的障がい者	精神障がい者	その他
相談援助件数	405 件	575 件	324 件	２件
新規契約件数	３件	１件	０件	０件
終了契約件数	０件	０件	０件	０件
現在契約件数	７件	１１件	４件	０件

〈年度別契約件数〉

	令和６年度	令和５年度	令和４年度
契約件数	２２件	１８件	１５件

〈成年後見制度への移行支援〉

行政機関やその他の相談支援機関と連携し、地域福祉権利擁護事業利用者で成年後見制度への移行の必要性について検討を行っています。

令和６年度に移行したケース　　：０件

３．仲間づくり・生きがいづくり

■各種サロン・講座の開催

（１）生涯現役事業「いつまでも元気クラブ」　　［詳細は P．30］

鏡、弓削、鵜川ふれあいプラザ等で概ね６０歳以上の方を対象に、介護予防を目的とした趣味活動、健康維持、仲間づくり、文化活動、ボランティア活動など様々な活動を実施しました。

また、参加者を増やす取り組みとして、町内で啓発のためのチラシ配布や竜王町「しるみる竜王」、「防災無線」でのお知らせを行い、新しい参加者につなげることができました。

３か月に１回福祉課と会議を持ち、取り組み状況や方向性について協議を行いながら事業を推進しました。

（２）いきいき趣味活動（高齢者趣味活動）

ふれあいプラザにおいて、書道教室、編物手芸教室を実施しました。

	書道教室	編物手芸教室	合計
令和６年度	鵜川 12 回/155 人 岡屋 12 回/　84 人	弓削 12 回/51 人 鏡　12 回/ 68 人	４８回／358 人
令和５年度	鵜川 12 回/ 142 人 岡屋 12 回/　71 人	弓削 12 回/４７人 あえんぼ１回/５人 鏡　12 回/ 84 人	４９回／349 人
令和４年度	鵜川 12 回/ 118 人 岡屋 12 回/　62 人	弓削 13 回/ 57 人 鏡　12 回/ 77 人	４９回／314 人

（３）一人暮らし高齢者支援事業

一人暮らし高齢者の方々が自宅で閉じこもり予防や、外へ出る機会を作り、楽しいひとときを過ごしていただくことを目的に開催しました。

民生委員児童委員協議会の高齢者福祉部会の方々にも参加していただき、身近に相談できる相手がいることや、身の回りの事に関する啓発なども行い、安心して一人暮らしが継続していくことができるよう支援しました。

実施日	内容	参加者
９月 26 日	・バイオリンに合わせて懐かしの歌を一緒に歌いましょう ・未来創造課職員によるチョイソコりゅうおうの話 ・参加者同士や民生委員さんと交流 ・交通安全、健康、防犯についてなど啓発やチラシの配布 ・町内の方からいただいた巾着のプレゼント	20 名

４．事務局運営

（１）事務局支援

事務局の運営または運営補助を行いました。

〈社会福祉協議会が事務局業務を行っている団体〉

団体名	事務内容等
竜王町共同募金委員会	詳細は共同募金委員会事業報告等参照
日本赤十字社竜王町分区	活動資金の募集と収納事務 赤十字奉仕団との連携
竜王町遺族会	会務の運営
護国社奉賛会	護国社大祭の執行
竜王町民生委員児童委員協議会	企画委員会・定例会の開催 民児協会計処理 多機関との連携サポート

（２）福祉団体への支援

自主的に福祉活動を行う老人クラブ連合会をはじめとする福祉団体からの申請に基づき、運営費の一部を助成し、支援を行いました。

町内の小学校、中学校を対象に福祉教育活動に対する助成を行うことで福祉教育の充実に努めました。

（当事者団体への支援）

視覚障害者友の会および母子福祉のぞみ会に対し、活動資金の助成や職員派遣による事業への協力を行いました。

５．その他の事業、啓発活動等の実施

（１）共同募金運動の推進

共同募金委員会事務局として募金活動の推進、配分活動の実施や啓発活動を行いました。

要援護世帯、小地域ふれあい事業、福祉団体への事業助成を行いました。

（２）社会を明るくする運動

社会を明るくする運動、青少年健全育成活動に協力しました。７月の強調月間には、のぼり旗、ポスターの掲示、公用車へのステッカー貼り付け等啓発活動を推進しました。

また、町長へ内閣総理大臣メッセージ伝達を行いました。

（３）平和祈念事業

７月 27 日に戦没者の慰霊と恒久平和の実現のため、町および社会福祉協議会主催で第 14 回竜王町平和祈念式を開催しました。

（４）（竜王町地域共生社会推進フォーラム）の開催

１２月６日に竜王町公民館ホールにおいて竜王町地域共生社会推進フォーラムを開催しました。令和６年度は、竜王町と共催で、ボランティア表彰や　「このまちの住民・企業・地域がともに元気であり続けるヒント」

をテーマにしたパネルディスカッションを実施し、町内の企業や施設３団体に登壇いただき、取り組みの紹介や意見交換を行いました。また、竜王町こどもまんなか会議に参加している小中学生の意見発表も実施し、登壇者との意見交換なども行いました。

パネルディスカッションの後は、竜ウォーク講座を開催し、８０歳代になっても元気に歩ける体づくりについて学びました。

〇社会福祉協議会会長表彰　１７人（団体)、感謝状の贈呈　２人
〇滋賀県共同募金委員会会長表彰の伝達　１人、感謝状の伝達　２団体
◇パネルディスカッション
「このまちの住民・企業・地域がともに元気であり続けるヒント」
・コーディネーター（司会）：　成安造形大学　講師　田口　真太郎　様
・パネリスト：弓削メディカルクリニック　医師　中村　琢弥　様
やまびこ福祉会　島田　和典　様
ダイハツ株式会社滋賀竜王工場　清岡　好秀　様
竜王町こどもまんなか会議　小中学生１０名
◇竜ウォーク講座
弓削メディカルクリニック　理学療法士・言語聴覚士　田口　裕　様

（５）車椅子の貸し出し

制度、施策、サービスによる車椅子の貸与や支給を受けられない方で、在宅生活で車椅子が必要な方に対し、無料で貸し出しを行いました。

福祉用具の在庫管理・メンテナンス等を行いました。

	令和６年度	令和５年度	令和４年度
貸出件数	・車椅子(短期のみ) ２９件（３７台） 今年度より長期貸出を中止	・車椅子 ３５件（４６台） 内、長期貸出(１年間) ３件（３台）	・車椅子 ３６件（５０台） 内､長期貸出(１年間) ７件（９台） (返却済も含む)

Ⅲ受託事業グループ

１．こども支援事業の実施

（１）こどもひろばの開催

未就園児とその保護者を対象に下記の内容で親子の交流や各講座を通じて子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援しました。

保健センター２階において月曜日から金曜日まで週５回開催しました。

様々なイベントは 10 組～15 組と制限し、密を避けるため鏡ふれあいプラザで行いました。

	開催日数	参加者数
令和６年度	238 日	延べ 5,841 人（保護者 2,568 人　子ども 3,273 人）
令和５年度	236 日	延べ 6,616 人（保護者 2,943 人　子ども 3,356 人）
令和４年度	235 日	延べ 5,858 人（保護者 2,621 人　子ども 3,237 人） 8/27～9/30　1/31～2/18・2/28～3/4 開催中止

〈活動・支援内容〉

①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
○自然と親しむ事業 花の水やり　いちご狩り　芋ほり　どんぐり拾い　おさんぽデー ○親のリフレッシュ 子ども服リサイクル　ベルの演奏会 ○遊びの工夫（季節の遊び、作品作りなど） 【作品作り】こどもの日の制作　季節の制作(梅雨・栗など)　七夕飾り どんぐり入れ　クリスマス制作　鬼のお面作り　おひな様 【季節の遊び】砂あそび　白玉粉粘土あそび　水遊び たなばた会　クリスマス会　お正月遊び　豆まき　ひな祭り会 【その他】　大きくなったね週間 おたんじょう会
②子育てに関する相談・支援
○こどもひろば開催時にスタッフによる相談　子育て世代担当者会議 ハローワーク説明会
③地域の子育て関連情報の提供
○「こどもひろばだより」の発行 ○各種セミナー等の案内 ○インスタグラム、フェイスブック、ホームページ、ＬＩＮＥの活用
① 子育ておよび子育て支援に関する講習等の実施
子育てお悩み相談室　　歯のおはなし　楽しい子育てのコツ　産後の身体を整えよう　応急手当講座　交通安全のおはなし　　おはなしタイム ベビーマッサージ　トランポビクス　親子ヨガ　アレルギー講座 ミュージック・ケア　　親子ふれあい遊び
⑤地域の子育て力を高める取り組み（異年齢との交流）
お話サークル「トトロ」 民生委員児童委員さんとの交流 中学生チャレンジウィーク　　希望の家交流

⑥子育て講習会の開催
開催なし

〈学年別ひろば〉

鏡ふれあいプラザで０歳児、１歳児、２歳児の学年毎に親子ふれあい教室を開催しました。（４月、８月、２月、３月を除き、月に１回開催）

	ぴよぴよ（０歳児）	よちよち（１歳児）	わくわく（２歳児）
令和６年度	８回／　321人 保護者　143人 子ども　178人	８回／　192人 保護者　80人 子ども　112人	８回／　230人 保護者　101人 子ども　129人
令和５年度	８回／　251人 保護者　115人 子ども　136人	８回／　285人 保護者　137人 子ども　148人	８回／　152人 保護者　64人 子ども　88人
令和４年度	８回／　215人 保護者　105人 子ども　110人	８回／　206人 保護者　95人 子ども　111人	８回／　170人 保護者　75人 子ども　95人

（内容）

友だちづくり　ベビーマッサージ　トランポビクス　親子ヨガ　アレルギー講座　ミュージック・ケア　親子ふれあい遊び　絵本の講座
フォトフレーム作り　おもちゃ作り　運動会ごっこ

（２）一時預かり事業の実施

竜王町にお住いのどこの園にも属さない生後６ヶ月～３歳となる年度末までのお子様の一時預かりを実施し、子育て支援を行いました。

事前予約制で、月曜日から金曜日の午前は９時から12時、午後は13時15分から16時15分まで開催。そのうちお子様一人につき１回３時間以内、週に２回までの利用が可能。

一時預かりの利用により、余裕を持った通院や買い物、学校行事への参加をされ、子どもと一時的に距離を取られる事で、リフレッシュして子育てしていただける様にサポートしました。

	登録者数	開催日数	利用者数	利用者実数
令和６年度	62人	238日	延べ725　人	51人

令和６年度から開始した新規事業であり、定期的に委託元の健康推進課と実施状況や課題を共有し、運営方法等を協議しながら事業を推進しました。

健康推進課との協議	令和６年　７月16日 10月25日 令和７年　２月26日

２．介護予防の取り組み

■各種サロン・講座の開催

（１）生涯現役事業「いつまでも元気クラブ」

鏡、弓削、鵜川ふれあいプラザ等で概ね６０歳以上の方を対象に、介護予防を目的とした趣味活動、健康維持、仲間づくり、文化活動、ボランティア活動など様々な活動を実施しました。

また、参加者を増やす取り組みとして、町内４か所で啓発のためのチラシ配布や竜王町「しるみる竜王」、「防災無線」でのお知らせを行い、新しい参加者につなげることができました。

３か月に１回福祉課と会議を持ち、取り組み状況や方向性について協議を行いながら事業を推進しました。

〈令和６年度の実施状況〉

活動名	実施内容
余暇活動	・ミニ卓球でラリー　・音楽で気分転換　・健康麻雀
交流支援	・介護の集い・えんがわカフェ・展示とカフェ・しめ縄技法・ちょっとした幸せを運ぶ寄せ植え
運動器機能向上	・DVD ヨガ体操　・いきいき健康体操　・自立体力全国検定 ・ゆったりヨガ　・ミュージック・ケア　・にこにこ体操 ・笑顔で伸ばそう健康寿命　・気分は太極拳 ・楽しくお散歩リン
文化活動	・パッチワーク　・ミシン講座　・音読講座　・折り紙を楽しもう
自学自習	・大人の寺子屋「漢字と計算、そろばん、雑学、計算とクイズ」・歯と口腔の健康　・初めての農園活動　・整理収納講座　・パソコンのすすめ　・ウォーキングのすすめ・料理のすすめ・簡単フレイル予防料理・災害の備え・竜ウォーク・心と体をリフレッシュ・高齢者の消費トラブル・大切な人へのメッセージ（相続の講座）・80歳までにやっておきたい上手な病院の付き合い方・高齢者と免許・夏の疲れた肌を回復・生活習慣病～糖尿病について～・心地よく動ける体力づくり（ひざ編）・ごみとリサイクルのお話し・脳トレレクリエーション
ボランティア活動	・日曜大工（注文を受けての製作）　・ミシン講座で製作した作品を一人暮らし配食事業で配布　・プランターに花の苗を植えよう

■介護予防拠点施設の管理・運営

（１）プラザの管理

鏡、弓削、鵜川の３ふれあいプラザを竜王町からの指定管理制度により管理を行いました。

プラザ名	実施日	内　　容
清掃・点検（メンテナンス）		
３施設	随　時	日々の清掃（社協職員）
	12 月	年末大掃除
	令和６年９月 12 日	エアコンフィルター清掃
	令和７年２月７日	消防設備点検
	令和７年２月 28 日	カーペット洗浄
弓削	年３回 5/2・7/24・9/25	除草（シルバー人材センター）
鏡	年３回 5/2・7/24・9/25	除草（シルバー人材センター）
修繕・交換		
鵜川	７月 11 日	和室エアコン取替工事
弓削	９月 17 日 10 月 29 日	洋室押入の戸車修理 仕切りのささくれ・壁の幅木修繕
鏡	11 月 28 日 ２月 10 日	洋室出入口敷居修繕 調理室エアコン取替工事
その他		
３施設	８月５日	AED のバッテリー＆電極パッドの交換
弓削	５月 10 日	桜の樹の毛虫駆除

避難訓練	
プラザ名	消防避難訓練
鵜川	３月 13 日 AM
弓削	３月 19 日 AM
鏡	３月 24 日 PM

（２）プラザの運営

介護予防、地域交流、ボランティアの活動場所として活用されるよう運営を行いました。

コロナウイルス感染拡大により減少していた利用者も徐々に増加しました。令和６年度は担当職員の減少に伴う講座数の縮小により回数・総利用数が減っています。

〈年間総利用人数〉

	令和６年度	令和５年度	令和４年度
鵜川プラザ	227 回／2,756 人	258 回／2,852 人	197 回／2,174 人
弓削プラザ	133 回／2,004 人	138 回／2,145 人	161 回／2,031 人
鏡プラザ	154 回／2,419 人	172 回／2,519 人	172 回／2,447 人

①生涯現役事業

「いつまでも元気クラブ」（生涯現役事業）の実施

町から介護予防事業として委託を受けている生涯現役事業は、鵜川、弓削、鏡ふれあいプラザやあえんぼクリニック、西山の貸農園を会場に概ね６０歳以上の方を対象に多様な活動を開催しました。

令和６年度は、感染症対策を取りながら、健康講座や終活として、「医療・相続・空き家問題」、また認知症講座や介護の集い等これからの自分自身や家族の為に今聞いておきたい講座などを学びました。

〈令和６年度活動別参加者数（プラザ別）〉

		鵜川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ	その他
令和６年度		199 回/2,038 人	80 回/984 人	81 回/331 人	5 回/33 人
内訳	余暇活動	38 回/409 人	-	19 回/ 73 人	-
	交流活動	16 回/293 人	1 回/8 人	-	-
	運動器機能向上	42 回/484 人	37 回/431 人	28 回/89 人	-
	文化活動	36 回/324 人	33 回/488 人	12 回/101 人	-
	自学自習	67 回/528 人	9 回/57 人	6 回/31 人	5 回/33 人
	ボランティア活動	-	-	16 回/37 人	-
令和５年度		212 回/1,831 人	90 回/1,014 人	113 回/516 人	16 回/150 人
令和４年度		158 回/1,268 人	111 回/925 人	110 回/506 人	27 回/220 人
令和３年度		150 回/1,200 人	84 回/724 人	115 回/564 人	13 回/102 人

②いきいき趣味活動

「いきいき趣味活動」（高齢者趣味活動）の実施

高齢者自らが寄り集い、活動を通じて交流を深め合い、地域に持ち帰って地域の仲間づくりへと発展していける講座の開催に努めました。

〈受託している３プラザでの実績〉

		教室数	延べ開催回数	延べ参加者人数
令和６年度		３	３６回	２７４人
内訳	鵜川プラザ	１	１２回	１５５人
	弓削プラザ	１	１２回	５１人
	鏡プラザ	１	１２回	６８人
令和５年度		３	３６回	２７３人
令和４年度		３	３７回	２５２人

③こどもひろばの開催

通常の「こどもひろば」では主なイベントを鏡ふれあいプラザで、出張ひろばを弓削ふれあいプラザで開催しました。

「学年別ひろば」を鏡ふれあいプラザで開催しました。

〈こどもひろばの開催〉

開催場所	令和６年度		令和５年度		令和４年度
	開催回数／のべ人数		開催回数／人数		開催回数／人数
弓削ふれあいプラザ（出張ひろば）	38回／831人（スタッフ・講師等含む）		31回／818人（スタッフ・講師等含む）		30回／639人 保護者　297人 子ども　342人
鏡ふれあいプラザ	学年別ひろば	こどもひろば	学年別ひろば	こどもひろば	19回／777人 保護者　362人 子ども　415人
	24回/835人（スタッフ・講師等含む）	37回/1096人（スタッフ・講師等含む）（イベント準備５件７人含む）	24回/786人（スタッフ・講師等含む）	21回/917人（スタッフ・講師等含む）	

④自主事業（介護予防は除く）

社協が主催する講習会や交流会等の会場としてふれあいプラザを利用しました。

	鵜川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ
令和６年度	９件／46人	２件／34人	－
令和５年度	19件／102人	２件／85人	－
令和４年度	16件／204人	４件／60人	１件／６人

（３）貸館事業

〈貸館事業実績　上段：利用件数　下段：延べ利用人数〉

			鵜川プラザ	弓削プラザ	鏡プラザ
令和６年度			８件 261人	１件 14人	０件 ０人
	内訳	竜王町（選挙含む）	２件 14人	－ －	－ －
		町事業委託先事業所	－ －	－ －	－ －
		関係福祉団体	－ －	１件 14人	－ －
		自治会	４件 124人	－ －	－ －
		その他	２件 123人	－ －	－ －
令和５年度（自主事業含まない）			14件／338人	３件／11人	３件／16人
令和４年度（自主事業含まない）			27件／460人	７件／80人	６件／ 38人